

考動・躍動・感動

人の生き方・考え方から学ぶ

アメフトV4を達成したオービックのヘッドトレーナー

ひと

よしなが 吉永 たかのり 孝徳 さん(47)



アメリカンフットボールの世界に飛び込み、裏方としてチームを支えて21年。「格別ですね」。史上初の日本選手権4連覇に沸く選手を、柔らかな笑顔で見つめた。福岡県出身。学生時代は野球に打ち込み、米国のインディアナ州立立大大学院でスポーツ医学も学んだ。「就職のためでなく、人の心と体のことを知りたかった」。帰国後は一般企業に就職した。1992年、チームにトレーナーとして誘われた。「敷かれたレールの上を行くより、そういう人生もありかな」。「3年で日本一」を目指し、どのチームよりも選手を走らせてきた。だが目標に届かなかった。これ以上、選手に求めることはできないと思い、提案した。「全員が毎日、腹筋100回やれば日本一になれるよ」自宅でも手軽にできるトレーニングを勧めた。「1・01」という数字を示し、自主性に訴えた。「1・01を掛け続ければ、元の値の2倍を超える。前日より0.01よくなる一つの方法が腹筋なんだ」。選手が主役というチームカラーを仲間と作り上げ、97年から7度の日本一に貢献した。練習拠点は千葉県習志野市。地域密着も手がける。2010年に選手とファンの腹筋回数を数える企画を始めた。「たかが腹筋だけど、色んな人を巻き込みたい」。ファンと一緒に5連覇を目指す。

文・小俣勇貴 写真・内田光



1月4日(朝日新聞)

【自分の生き方について・・・】

「敷かれたレールの上を行くより、そういう（自分で決断していく）人生もありかな」
 「自主性に訴えた」
 「1.01を掛け続ければ、元の値の2倍を超える。前日より0.01よくなる一つの方法」

ヘッドトレーナーとは、チームの中では裏方の仕事です。普段は決して表に出てくることのない存在です。しかし、今回こうやって紹介される中で、上に紹介したように、私たちにも共通する大切なキーワードがたくさん出てきました。

この記事に限らず、日々の新聞やテレビ番組の中で、様々な分野のたくさんの人の生き方・考え方が紹介されています。『新聞に載るような人は、僕たちとは違うから・・・』『私とはタイプが違うから・・・』ではなく、一度じっくりとその人の想いに耳を傾けてみましょう。時には、自分自身の生き方・考え方と照らし合わせてみるのも大事だと思います。自分がどんな人生を歩んでいくのか、どんな大人になっていきたいのか、少しずつ考えていく3学期にしましょう。

